

令和2年度学校自己評価システムシート (県立児玉高等学校)

目指す学校像	「授業」を大切にし、人間力(①目標に向かって努力する力②人と上手に関わる力③感情をコントロールする力)を育成することを通して、地域社会へ自信と自己肯定感を持った人材を輩出する学校
--------	---

重点目標	1 「授業」を大切にする学校 2 人がたくさん集まる学校 3 人間力(非認知能力)を育成し、地域社会に貢献する生徒を輩出する学校
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	6名
	事務局(教職員)	7名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (1 月 3 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成 次年度への課題と改善策
1	学校生活になじめない生徒や、日本語に不安を抱える生徒も存在する。学習習慣がついておらず、学習意欲も高いわけではなく、生徒間に基礎学力の差がみられる。 「基礎学力」定着と「自己肯定感」を高める学習指導及び授業改善に取り組み、学習意欲を向上させ、学力を向上させることが課題である。 また、中途退学者の減少に向けた取り組みも大きな課題である。	学習意欲の向上と基礎学力の定着。	①各教科による授業の工夫・改善(通年) チャム to チャムの徹底による授業時間確保 ②教員相互による授業研究(通年) 各教科主催の公開授業の実施 ③学習サポーターの活用や補習指導(通年) ④課題テスト(年3回)の実施 ⑤各種検定受験の積極的な働きかけ(通年) ⑥高校生自立支援事業を活用し、サポートステーション等の外部機関との連携(通年) 二者面談や三者面談を通しての課題把握と共通理解促進	①1 学年2 学期末評定平均:3.0 以上 成績優良者と不良者の前年比 10%向上、10%減少 ②生徒アンケート「わかりやすい授業」肯定70%以上 ③学習サポーターの活用日数と生徒アンケート「補習体制の充実」肯定80%以上 ④課題テストの平均点向上 ⑤各種検定試験の受験者数の動向 ⑥一①自立支援事業の円滑な計画と実施 ⑥一②中途退学者の減少(前年度比10%減)	①評定平均3.13(3.19) 成績優良者11.1%(6.2%) 成績不良者36.1%(34.0%) ②「わかりやすい授業」肯定41.7%(54.2%) ③学習サポーターの活用日数66日 「補習体制の充実」肯定55.1%(58.6%) ④課題テスト1年:国52.2 数25.2 英47.5 2年:国57.2 数39.3 英40.8 3年:国57.4 数22.0 英57.8 ⑤商業系検定試験延べ288名合格 ⑥一①深谷若者サポートステーションによる個人面談及びSSTの実施 ⑥一②中途退学者数前年度比0.36%増加	B ・「基礎学力」の定着と「自己肯定感」を高める学習指導及び授業改善への取り組み ・ICT機器の有効活用及び研修の充実 ・中途退学者、長期欠席者の減少に向けた支援体制の構築と、外部関係機関との連携強化 ・生徒の学習意欲を向上させるためや、達成感を得るための外部公的検定試験等の効果的な実施
2	学校の現状や取り組みを正確に理解してもらう必要がある。 教育活動の効果的な情報発信や地域社会・小・中学校との教育活動・交流事業等を充実させ、開かれた学校づくりにさらに取り組むことが課題である。	学校と地域社会、関係機関や地元小中学校、保護者等との連携強化。	①HP 更新、一斉配信メール活用や地元報道機関と連携した学校情報の積極的発信(通年) 全学年・全分掌によるHP更新 ②「児玉高校だより」の地域への回覧(年6回) ③地元小中学校との交流事業の推進(通年) ④地域活動への積極的な生徒派遣(通年) ⑤PTA・後援会・同窓会との連携(通年) ⑥学校説明会、進学相談会や中学校訪問の工夫・改善(年10回)	①HP更新回数及びアクセス数 保護者アンケート「情報提供を積極的に行っている」肯定70%以上 ②「児玉高校だより」の回覧を実施 ③地元小中学校との交流事業等の実施 ④地域活動への参加回数 ⑤PTA等の学校行事への参加回数 ⑥学校説明会等の参加者数400名以上	①HP75回更新及び2,858,506アクセス 「情報提供を積極的に行っている」肯定39.7%(53.6%) ②「児玉高校だより」未回覧 ③地元小学校との交流事業等未実施 ④各学年、地域清掃活動実施⑤バスケット販売、校門立哨指導に参加⑥学校説明会参加者数157名(235名)	B ・家庭、地域へ教育活動の効果的な情報発信 ・地域社会における生徒の校外活動の推進 ・小中学校との教育活動を通しての連携 ・生徒募集、児玉新校に係る効果的な学校説明会等の実施
3	生徒指導全般の指導を徹底させることで効果が現れている。 教育相談体制の整備及び生徒支援の推進にさらに取り組む必要がある。 自己の進路実現に関心の高い生徒が大多数であり、自己理解、自己探求の進化に向けた主体的な進路実現への支援が必要である。 行事や部活動を充実させ、自己実現を図ることのできる生徒の育成が必要である。 系統的、組織的な進路指導、キャリア教育を推進して、進路を選択決定させることが課題である。	学校生活の充実と規範意識の向上。	①学年集会(毎月)、全校集会(定期的)の実施 ②整容基準の見直しと共通理解による指導の徹底 ③定期的な登校・下校指導、遅刻指導や校内巡視の実施(通年) ④生徒会による学校行事の活性化(通年) ⑤1 年全員の部活動加入による部活動の活性化(通年)	①学年集会、全校集会の実施回数 ②生徒アンケート「生徒指導が積極的」肯定90%以上 ③遅刻回数(1・2学期)の昨年度比5%減少 ④生徒アンケート「学校行事が充実」肯定80%以上 ⑤部活動参加者数及び大会等の成果	①学年集会毎月実施、全校集会未実施 ②「生徒指導が積極的」肯定63.9%(79.3%) ③遅刻回数昨年度比1.3%増 ④「学校行事が充実」肯定27.3%(55.0%) ⑤部活動加入者数98名38.0%(5/1 現在)女子柔道部全国大会出場	B ・交通安全、自転車、自動二輪車等の運転マナー等の規範意識の醸成 ・整容指導、服装指導、遅刻指導等を含む生徒指導全般の指導の徹底 ・教育相談体制の整備及び生徒支援の推進 ・児玉新校統合を見据えての部活動の活性化 ・系統的、組織的な進路指導、キャリア教育の推進 ・進路実現を図るための生徒の自己理解、自己探求の進化 ・分野別の進路指導体制の充実
		進路希望の実現。	①進路指導部と学年との連携(通年) 進路の手引き「mezo」の活用(通年) 進路だより等を通して保護者向けに情報発信・理解促進(通年) ②進路行事の計画的実施(通年) ③就職支援アドバイザーの活用(通年) ④ハローワーク等の外部機関との連携(通年) ⑤高大連携事業の積極的活用(通年) ⑥一般常識テストの実施(年2回)	①生徒・保護者アンケート「進路指導はきめ細やか」肯定70%以上 ②進路行事の計画的遂行 ③就職支援アドバイザーの効果的な活用 ④学校を通しての就職希望者の就職率 ⑤一般常識テストの平均点向上	①「進路指導はきめ細やか」肯定36.7%(生徒)41.4%(保護者) ②進路行事計画一部内容を変更して実施③就職支援アドバイザー-活用日数7日④就職希望者41名/35名が内定⑤一般常識テスト1年68.6(55.0)2年70.4(50.8)	

学校関係者評価
実施日 令和3年2月16日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の基礎学力不足については、中学校としても申し訳なく思っています。中学校で学習に自信が持てなかった生徒に自信を取り戻させ、「自己肯定感」が高まるようご指導をよろしくお願いします。 ・このコロナ禍、学校関係者の皆様には深謝申し上げます。生徒の可能性を切り拓いていく、なみなみならぬ教育指導。又PTA会報の「しるやま」に各先生方の写真、学校の顔です。すばらしい。 (1)わかりやすい授業、補習体制の強化を願います。 (2)各種検定試験の受験を促す。 (3)中途退学者を減らす。
<ul style="list-style-type: none"> ・児玉高校といえば、サッカーや柔道などの部活動で成果を得ていた学校という印象があります。子供たちにとって部活動は生活の中で大きなウエイトを占めています。コロナ禍で難しいのですが、中高で部活動交流等ができれば、ありがたいと考えています。 ・開かれた学校づくり 中学生と運動部との交流試合や合同練習 サッカー、野球、バスケット部など、普通科の生徒も参加し、土・日・祝日に行ってはどうか。 ・学校説明会に地元出身の生徒が中学校を訪問し、児玉高校のPRに参画する。
<ul style="list-style-type: none"> ・本校では、中学2年生で「立志式」を実施し、自分の将来を見つめる節目としています。しかし、全員の生徒が、自分の将来像に志を立てられるわけでもありません。今後も、自分が大人としてどのように生きていくのかを中学2年生で考えさせてまいりますので、その後のご指導をよろしく願います。 ・交通指導 交通事故は尊い命を奪う。しっかり指導を願います。 ・進路指導 生徒一人一人の個性を大切に、未来ある子に丁寧に向き合ってほしい。 ・目標はほぼ達成されておりますが、諦めずさらなる努力を懇願いたします。